関門医療センターで診療を受けられる患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。
本研究の対象者に該当する可能性のある患者さんで、情報を研究に用いられることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先までお申出ください。
その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

①研究課題名	当院における切除不能・再発胃癌に対するゾルベツキシマブ＋化学療法の臨床成績			
②実施予定期間	研究実施許可日　から　　2028 年　3 月　31 日			
③対象患者	西暦 2024 年　9 月　4 日　から　西暦 2026 年 9 月 30 日の期間中に、当院にて、ゾルベツキシマブ併用化学療法を行った切除不能・再発胃癌に対して一次治療の患者さん			
④研究機関の名称	独立行政法人国立病院機構　関門医療センター			
⑤研究代表者 ⑥当院の研究責任者	氏名	吉野　茂文	所属	外科
⑦利用する試料・情報等	収集する診療情報は下記の通りです。 年齢・性別・既往歴・入院の契機となった疾患名・転移部位・病理所見・持参薬・採血結果・使用薬剤・治療開始日・治療終了日・治療転機・有害事象・最終生存確認日・外来受診日・未受診理由など 診療情報は当院の研究担当者が情報を取り扱い、適切に保管します。 他の共同研究機関へ診療情報を提供する場合は、個人情報を保護した上で、匿名化した情報を提供いたします。			
⑧研究の目的	ゾルベツキシマブを使用した際、高い悪心・嘔吐のリスクが報告されており、マネジメント管理が重要となる。悪心を含む有害事象と治療効果を検討する。			
⑨研究の方法	「③対象患者」について、制吐薬適正使用ガイドラインの高度催吐性リスクに準じて嘔気対策を行った。また、治療転機・有害事象をカルテより調査する。			
⑩実施許可	研究実施許可日	2026 年　10 月　30 日		
⑪結果の公表	研究成果を学会や医学論文などに発表することがあります。			
⑫個人情報の保護	結果を公表する場合、氏名・住所・電話番号などの個人情報は使用いたしません			
⑬知的財産権	将来この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。			
⑭利益相反	本研究では、計画・実施・報告において、研究の結果および解釈に影響を及ぼすような利害の衝突は、一切生じません。また研究の実施が、患者さんの権利・利益を損ねることはありません。			
⑮問い合わせ先・相談窓口	本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。			
	国立病院機構関門医療センター　外科			
	担当者	吉野　茂文	電話	083-241-1199（代表）

2026 年 10 月　23 日作成